

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	
Title(English)	A Translational Approach to Value Co-creation and Innovation of Healthcare Services
著者(和文)	松下博宣
Author(English)	Hironobu Matsushita
出典(和文)	学位:博士（学術）, 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第9911号, 授与年月日:2015年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:木嶋 恭一,池上 雅子,後藤 美香,金子 宏直,出口 弘
Citation(English)	Degree; Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第9911号, Conferred date:2015/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	審査の要旨
Type(English)	Exam Summary

(博士課程)

論文審査の要旨及び審査員

報告番号	甲第	号	学位申請者氏名	松下 博宣		
論文審査 審査員		氏 名	職 名		氏 名	職 名
	主査	木嶋 恭一	教授	審査員	金子 宏直	准教授
	審査員	池上 雅子	教授			
		後藤 美香	教授			
		出口弘	教授			

論文審査の要旨（2000 字程度）

本論文は、「A Translational Approach to Value Co-creation and Innovation of Healthcare Services」と題し、9 章からなる。本論文の目的は、Service Systems Science の枠組みに基づき、知識が生成され伝播される人間活動システムの仕組みとプロセスを分析することにより、大変革期にある医療サービスの価値共創性を解明し、Translational Systems Sciences における医療サービスの分析モデルを開発し、その応用を実践することであるとしている。

第 1 章「Introduction」では、問題の諸相、研究目的、リサーチクエスチョンを含めて、本研究全体構成について説明し、価値共創のためのトランスレーショナルアプローチを深耕するための仮説的枠組みを議論している。

第 2 章「Review of Previous Studies」では、本研究の趣旨に照らして先行研究を批判的にレビューしている。

第 3 章「Research Framework」では、研究戦略、リサーチデザイン、方法論ならびにデータ収集、研究構造について詳述している。

第 4 章「Value Co-creation of Healthcare Services through Competency Modeling」は、計量的/実証的研究として高業績看護師の内部モデルとして、能力・行動特性の「あるべき姿」を計量的に明確化している。ある大学病院をサンプルとして要求される能力（コンピテンシー）はどのようなものであるべきかを問う質問票を開発し、アクションリサーチを実施し 1300 人の看護職から回答を得ている。

第 5 章「Value-in-context of Healthcare: What Human Factors differentiate Value of Nursing Services?」では、実際の高業績看護師が持つ能力・行動特性を分析することにより、第 4 章で明らかになった内部モデルとのギャップを計測している。23 名の高業績看護師（過去の人事考課歴を参考にして人事委員会によって選抜された看護師）に対して構造化された B E I インタビュー（behavioral event interviews）を行い、ナラティブをテキストに起こして言説をコーディングすることにより、高業績看護師が顕在化させているコンピテンシーをとらえ、あわせて、メタ文脈価値トランスレーショナルモデル(Meta Value-in-context Translational Model)を構築している。

第 6 章「Asia-African Translational Community of Practice in Value Co-creation of Health Services」では、異なった分野で発展・応用されてきた「5S-改善-TQM（全組織的品質管理）」が、トランスレーショナルなプロセスを経てアジア、アフリカの国々で活用されている状態をケースとして綿密に分析している。

第 7 章「Innovation in Health Services: Technology Transfer and Diffusion of Risk Assessment Tools for the Treatment of Pressure Ulcer」では、褥瘡ケアサービス技術のトランスレーショナルな発展、改善、普及プロセスを、技術軌道を追跡することによって明らかにしている。

第 8 章「Discussion」では、以上の各章によって得られた知見を総合化するだけでなく、医療サービスの価値共創性に対するトランスレーショナルアプローチを基礎に、トランスレーショナル・リーダーシップをモデル化することで、知識生成・共有・橋渡しモデルとして学的知(episteme)、技術知(techné)、賢慮(phronesis)を敷衍する Triad translational continuum を提示している。

第 9 章「Conclusion and Further Research」では、本論文で得られた知見を整理したうえで、今後の課題として、一般化の方向性を示すとともに、人的資源管理論、システム理論、サービス科学、そして実践的なアクションラーニングといった医療にとらわれない学問領域を超えた応用の可能性について議論している。

以上、これを要するに、本論文は、Service Systems Sciences をベースに、その理論的基礎の検討及びモデルの構築を通じて、医療サービスにおける価値共創性とイノベーション創発に関わるトランスレーショナル現象創発の諸相について実証的に論じたものである。その主要な貢献は、以下の 3 点に集約できる。1) 実証によってミクロな職場という「場」において、意思決定主体のコンピテンシーと多様な文脈との関わり合いを定式化したモデルを提示した。2) 国際間、そして産学官というメゾもしくはマクロな「場」におけるイノベーションプロセスを知識伝播という視点で捉えたうえで、トランスレーショナルな特性を明らかにした。3) 従来の医療管理や医療におけるシステムズアプローチでは必ずしも明確に定式化されてこなかった、ミクロとマクロを架橋する知識・文脈転換に関する一般モデルを提示した。このように、本論文は、当該学問領域における斬新な分析枠組みを開発し、医療サービスの価値共創性とイノベーションの伝播に関する分析に理論的、実践的な道筋を示しており、学術上貢献するところ大である。よって、博士（学術）の学位を授与することが十分適切であると認める。

注意：「論文審査の要旨及び審査員」は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。